

# 広島市食検だより

2022年4月 第71号

## 牛の胃の中に磁石？パーネットについて

牛の内臓を検査していると、胃の中からこのような棒状のものが出てくることがあります。



これはパーネットという棒状の磁石です。

このパーネットは農家の方が牛に飲ませたもので、それが胃の中に留まり、内臓検査の際に見されたものです。

### パーネットの役割



牛が草を食べるとき、その草に釘などの鋭利な金属が混ざっていてそのまま飲み込んでしまうことがあります。また、牛は鉄を舐める習性があり、舐めた金属をそのまま飲み込んでしまうこともあります。

その後食べた草は第一胃に入り分解、発酵され第二胃へ送られます。第一胃、第二胃は膨大な量の食物を収容していて、強力な攪拌運動かくはんうんどうによって食物を砕いています。

そしてこの時にその鋭利な金属が牛の第二胃に刺さってしまうと、第二胃や心臓の表面が炎症をおこしてしまう場合があります。

そこでパーネットを牛に飲ませることで、胃の中の釘などをパーネットに引き付けて胃壁に刺さることを防止しています。

第二胃のすぐ近くには心臓があるので、釘などが第二胃に突き刺さってしまうと心臓の表面が傷ついてしまいます。

牛の第二胃に刺さっていたもの

